



新着図書リスト

ゆうまっど

今、話題の本を入荷しました！

2階ライブラリー

女性論とその周辺(性差別・その他人権含む)

2026年3月作成

書名	著者名	出版社
0歳からはじまるオランダの性教育	リヒテルズ直子	日本評論社
今日から始める家庭の防災計画 増補改訂版 避ける耐える逃げるしのぐ 災害で死なないための事前対策	高荷智也	徳間書店
ジェンダー目線の広告観察	小林美香	現代書館
女の子のための西洋哲学入門 思考する人生へ	メリッサ・M・シュエ、キンバリー・K・ガーチャー(編)/三木那由他、西條玲奈(監訳)	フィルムアート社
少子化～女”性”たちの言葉なき主張	海老原嗣生	プレジデント社
子どもと女性のくらしと貧困:「支援」の言葉を聞きに行く	中塚久美子	かもがわ出版
ジェンダード・イノベーションの可能性	小川真理子、鶴田相人、弓削尚子(編)	明石書店
なぜ人は自分を責めてしまうのか	信田さよ子	筑摩書房
わたしたちを阻むもの女性が抱える生きづらさの根源	対馬ルリ子	青月社
ポストフェミニズムの夢から醒めて	菊地夏野	青土社
ルッキズムってなんだろう？	西倉実季	平凡社
人間の声で ジェンダー 二元論を超えるケアの倫理	キャロル・ギリガン(著)/川本隆史、山辺恵理子、米典子(訳)	風行社
ことばに潜むジェンダー 学校・本・テレビ・日常のなかのもやもや	遠藤織枝(編著)	明石書店
子どもの性の多様性	佐々木掌子	ちとせプレス
きりこについて	西加奈子	角川書店

生き方(子育て・家庭・介護含む)

書名	著者名	出版社
みんなの「わがまま」入門	富永京子	左右社
社会的処方～孤立という病を地域のつながりで治す方法	西智弘(編著)	学芸出版社
ママはキミと一緒にオトナになる	佐藤友美	小学館
更年期に効く美女デカラ	高尾美穂(著)、ねこまき(絵)	リベラル社
人生後半は大学院から	中野汐里	パレードブックス
わたしたちのケアメディア誰もが生きやすい社会のコミュニケーション	引地達也	晶文社

働くこと(女性の活躍・社会参画含む)

書名	著者名	出版社
女子が一生食べていける仕事選び	上田晶美	草思社
「仕事が終わらない人生」が180度変わる 努力に頼らず「要領がいい人」になる40のコツ	菅原洋平	アスコム
キャリアに迷ったら一人で悩むな	柴田郁夫	日刊現代
それ、すべて過緊張です。	奥田弘美	フォレスト出版
転職支援のプロが我が子にだけ教えた人生が圧倒的に豊かになるキャリア戦略	柴田郁夫	KADOKAWA

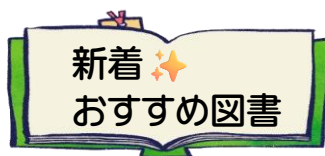
貸出はおひとり3冊・3週間まで

児童書・絵本は裏面へ➡

児童書(子ども・青少年)

貸出はおひとり3冊・3週間まで

書 名	著者名	出版社	対象年齢
10ばんだ	岩合日出子(文)、岩合光昭(写真)	福音館書店	0歳頃から
アイラブミー じぶんをたいせつにするえほん	オバック(絵)、たけむらたけし(文)	新潮社	3歳頃から その保護者
ノラネコぐんだん ピザをやく	工藤ノリコ	白泉社	3歳頃から
ぼくのスカート	ピーター・ブラウン(作・絵)、日高庸晴(訳・監修)	小学館	小学校低学年～
ランスとロットのさがしもの	リンダ・ハーン(作)、アンドレア・ゲルマー/眞野豊(訳)	ポット出版	小学校低学年～
ホオナニ、フラおどります	ヘザー・ゲイル(作)、ミカ・ソング(絵)、クウレイナニ橋本(訳)	さ・え・ら書房	小学校低学年～



『ジェンダー目線の広告観察』

小林 美香 / 現代書館

日々目にする広告によって、知らず知らずの内に「らしさ」の呪縛にとらわれていくことを教えてくれる一冊です。無意識に刷り込まれる規範や価値観を解きほぐしてくれます。日本だけでなく、世界中の広告について丁寧に解説がされており、読みやすく、分かりやすい内容です。なかでも第2章で解説される、著者が続けている広告観察日記は必読です！
新年度が始まるこの時期に、新しい視点と気づきを取り入れてみませんか？



『キャリアに迷ったら一人で悩むな』

柴田郁夫 / 日刊現代

本書は、キャリア相談歴20年超の著者が送る「読むキャリア面談」の決定版です。物語形式で10人のシミュレーション面談が描かれています。キャリアの多様化、正解が複数ある時代だからこそ、「対話」がキャリアの羅針盤になると気付かせてくれます。
どんな人も輝ける！自分だけの道の見つけ方のヒントを読者に届けてくれます。
就活サイトを眺めるだけで終わってしまう方や、キャリアアップを考えている方、雇用する側の管理職の方にもおすすめです。



『社会的処方～孤立という病を地域のつながりで治す方法』

西智弘(編) / 学芸出版

認知症・うつ病・運動不足による各種疾患…。医療をめぐるさまざまな問題の最上流には、近年深まる「社会的孤立」があると言われています。従来の医療の枠組みでは対処が難しい問題に対して、薬ではなく「地域での人のつながり」を処方する「社会的処方」。制度として導入したイギリスの事例と日本各地で始まった取り組みが紹介されています。
専門家が集まって課題解決！ではなく、どこにでもいる地域の人たちが試行錯誤しながら奮闘する姿が綴られています。
地域活動に関わる方や医療関係者の方におすすめです。



『ホオナニ、フラおどります』

ヘザー・ゲイル(文)、ミカ・ソング(絵)、クウレイナニ橋本(訳) / さ・え・ら書房

女と男、両方の性を自認する12歳の主人公ホオナニは、ハワイの伝統文化である男性の古典フラをとおして、「ありのままの自分」を表現しようします。まわりからの理解と反対を受けながら、ひとり奮闘し、チームの中で存在感を高めていきます。
果たして、本番のステージでうまくおどることはできたのでしょうか。この絵本は、ハワイを舞台に、ホオナニが自分の居場所をつかみ取るまでの姿を描いた、実話に基づく物語です。性別に関係なく、そのままの自分を大切にする勇気がわいてきます。ぜひ、親子で楽しみながら読んでほしい一冊です。

